

## 5-1 多様な人材の育成

生涯にわたる学習の基礎を培い、社会の様々な分野で活躍する総合的な人材を育成するためには、その基礎・基盤となる**初等中等教育の役割が極めて重要**。その基盤となる**安全・安心で環境に優しい学校づくり**を実施。

### 沖縄県における公立学校施設整備の現状等

#### 【目的】

##### ○公立学校施設の安全性の確保

- ・児童生徒が一日の大半を過ごす活動の場
- ・地域住民の応急避難場所



鉄筋が剥き出しになった校舎



整備された園庭で遊ぶ園児たち

#### 【現状】

##### ○沖縄県の特異性

- ・塩害等による学校施設の老朽化の急速な進行  
→老朽化した危険な校舎の解消が急務

##### ○公立小中学校の耐震化率・耐震診断実施率

- ・耐震化率・・・**沖縄県71.0%**(全国67.0%)
- ・耐震診断実施率・・・**沖縄県98.7%**(全国95.7%)

(平成21年4月1日現在)

##### ○エコ改修(太陽光パネルの設置)の実施

- ・公立小中学校への太陽光パネルの設置促進

##### ○質的整備の促進

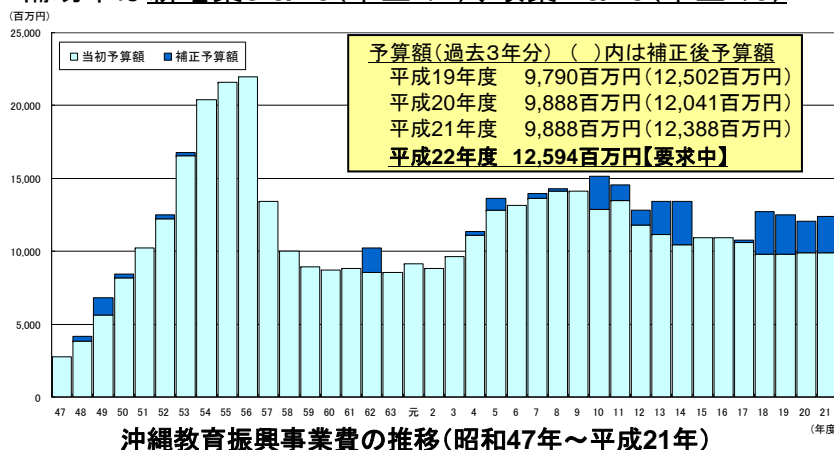
- ・地域との連携、環境との共生、防犯対策、バリアフリー化、健康や安全面への配慮



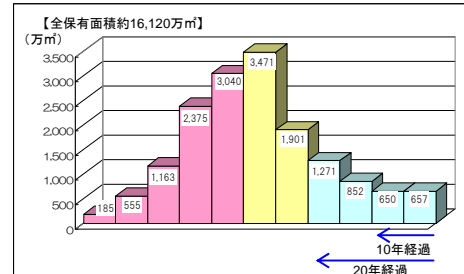
校庭の芝生化

### 沖縄教育振興事業費の推移

内閣府にて一括計上し、文科省に移替をした上で執行。  
補助率は**新增築8.5/10(本土1/2)**、**改築7.5/10(本土1/3)**



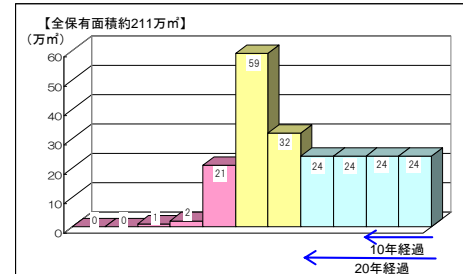
### 老朽化の現状(沖縄・全国)【公立小中学校非木造建物の経年別保有面積(平成20年度)】



#### 【全国】

沖縄は**塩害等による学校施設の老朽化が著しい**ため、**全面建て替え(改築)方式**を採っている。

(本土は早急かつ効率的に耐震性を確保するため、原則全面建て替え(改築)方式ではなく、安価で工期の短い**改修方式**を採っている。)



#### 【沖縄】

## 5—2 多様な人材の育成

多様な社会的、時代的要請に的確に対応できる専門分野の人材育成を目指して、**高等教育機関の整備充実を図る**観点から、実践的技術者の育成及び地域社会や産業界と連携して産業の振興に有為な人材の育成を行う**沖縄工業高等専門学校**の整備を実施。

### 沖縄工業高等専門学校の設置

#### 【概要】

- 設置者…独立行政法人国立工業高等専門学校機構
- 学生数…学科821人、専攻科28人(定員:学科800人、専攻科48人)(H21.4.1現在)
- 教職員数・110人(H21.4.1現在)
- 設置学科・専攻科…4学科、1専攻科(※専攻科はH21.4.1設置)
- 卒業後の進路…進学、就職等多岐に渡る。**就職内定率は100%(H21.3.31現在)**  
実践的な技術教育等による技術者の養成は、経済産業界から高い評価を得ている。

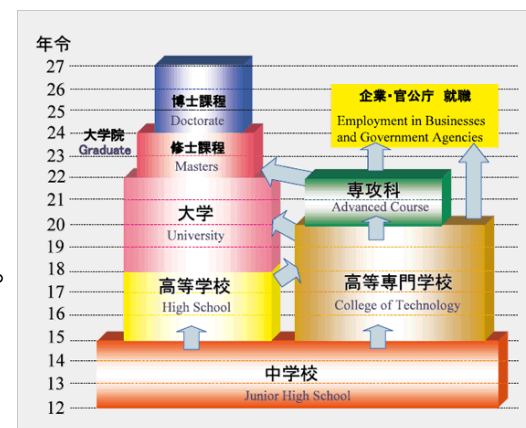
#### 【経緯】

- 平成11年12月 閣議決定「普天間飛行場の移設に係る政府方針」の中で、沖縄高専の実現が約束。
- 平成14年7月 「沖縄振興計画」の中で、設置・目的を明記。
- 平成14年10月 沖縄工業高等専門学校開学(施設整備予算約117億円(H14～H16))
- 平成16年4月 独立行政法人国立高等専門学校機構が設置する高等専門学校となる。  
第1回入学式を挙行、175人が入学



沖縄工業高等専門学校(名護市辺野古)

#### 高等専門学校の位置付け



- ・高校卒業生は、高専4年次への編入資格がある。
- ・高専卒業生は、大学3年次への編入資格がある。
- ・高専卒業生は高専の専攻科に進学する資格がある。
- ・専攻科は最新の科学知識と技術を更に深めたい学生のため、2年間のより高度な技術者教育を行う。修了して「学士」を得た者は大学院への入学資格がある。

## 5-3 多様な人材の育成

- 「振興の基本となるのは人材である」(沖縄振興計画後期展望)との考え方を踏まえ、戦略的な取組を担う人材や沖縄の将来を担う人材の育成等に向けた取組を実施。

### ○ 産業を担う人づくり・・・観光・IT等の人材育成

観光人材・・・高度観光人材育成等  
情報通信・・・情報核人材育成、コールセンター人材育成等  
その他・・・雇用直結型金融人材育成、BPO人材育成等

### ○ 将来を担う人材育成・・・中高生等を対象とした人材育成

#### キャリア教育の推進

雇用対策の一環として、高校生等のジョブシャドウイングなどのキャリア教育を支援。

#### アジア青年の家(H20～)

イノベーションを起こす力や共生の精神を涵養することを目的に、国内やアジア各国の中高生が沖縄に一堂に会し、3週間程度にわたり、環境問題等をテーマにした講義やディスカッション、体験学習、オープンセミナー等を実施。



漂着ごみ実態調査を行う参加者(21年8月)

#### 子供科学力養成塾(H21～)

科学技術研究施設や公設研究機関等を活用した、多様な体験プログラムの開発及び実施。実施したプログラムの県民への周知及び関連イベントの実施。

SSH、SPPなど他省庁が行なう関連事業について、沖縄県小・中・高等学校との連携を促進。



でんじろう先生による指導者向け講演・実験(21年7月)

### 人材育成の課題(例)

- 産業界等における高度な人材育成に向けた方策・支援のあり方如何。
- 若者の力を沖縄の発展に結びつけていくための人材育成をどのように進めていくか。
- 沖縄科学技術大学院大学等を活用した科学技術を担う人材育成をどのように進めていくか。